



東神楽町共同学校連携

NO.9

事務局だより

家庭版

発行:19/12/19

東神楽町共同学校連携事務局長 坂田 淳哉 (中学校内)

今年は図書購入予算アップ!!! (全校)

こちらは、東神楽中学校の学校図書館前廊下の写真です。廊下前には、このような本に関わるディスプレイがされていて、見る人を読書へ誘います。

また、テーブルには推薦本が並べられ一目で開館していることが分かります。

これらは「図書協力員」さんや「図書委員会」が、いろいろとエ



夫を凝らしながら作成しているものです。館内のディスプレイも、本屋さんのようなポップを作成していたり、テーマに沿

った企画コーナーを作って、読書への関心を引く工夫が満載です。そんな努力が実ったのか、今年は例年より図書予算がアップ！年明けには本屋大賞ノミネート作品なども並ぶ予定です。



複合施設に関する講演会(東神楽小・中)

12日に、東神楽中学校の卒業生で、パリをはじめ世界各地で活躍されている建築家 藤本 壮介さんの講演会が、東神楽小学校と東神楽中学校で開催されました。



連絡先

東神楽中学校
83-2413 (明石)

東神楽小学校
83-2344 (清川)

東聖小学校
83-3055 (箱崎・土屋)

忠栄小学校
83-3205 (長谷川)

志比内小学校
96-2146 (松田)

教育委員会
83-5406 (米津)

今回の講演では、ご自身がこれまで手がけた建築を紹介しながら、担当される東神楽町複合施設基本設計について、その設計に当たっての心構えを「建築とは、ただ建物を建てるだけではなく、そこに住む人の思いや願いを具体的な形にすることだ」とお話しされていました。生徒たちは、具体的な完成予想模型を間近で見せていただき、興味深そうにしていました。

徴収金の収納状況について(事務室)

先月もお伝えしましたが11月までに志比内小・忠栄小・中学校が完納となっており、町全体の完納まで残り3戸(東小・東聖)となっています。

学校の徴収金は、春に購入した教材の支払い等「完納するまで直接業者へ支払えない」費用や、スキーのリフト代など「集まっていないと授業が成り立たない」費用で構成されています。これらの事情をご理解いただき、年内の納入に重ねてご協力を、お願いいたします。

プラズマテレビ更新！(町内小中学校)

プラズマテレビは、現在では製造されていません。

唯一のメーカーだったパナソニックが2014年3月にパネル生産を打ち切ったことから、現在のテレビ市場からは消え去りました。

町内各校にはプラズマテレビが複数台配備されていますが、ここ2年くらいの間に、各学校で画面が映らなくなったり、ディスプレイに縦線が入ってしまったりという故障が相次いで発生しており、その都度、修理を試みていました。

しかし、町内各校のプラズマテレビは2009年に導入したもので、製造後11年を経過しており、また、部品保有期間も過ぎていることから、修理ができないか、できても非常に高額な見積もりとなる状態でした。

このため、故障したプラズマテレビを液晶テレビに更新します。

導入台数は東神楽小・東聖小・中学校が各2台、忠栄小、志比内小が各1台で12月25日に配備予定です。学校へのクリスマスプレゼントですね。